

学術雑誌のいま、論文発表のこれから。

会場参加 定員 80名(先着順)

入場無料

研究成果をもとに論文を書き、査読を受けて学術雑誌から発表する。そんな「学術コミュニケーションの作法」が変わりつつあります。これまでは商業雑誌を中心とした学術出版の仕組みでしたが、これに対抗するオープンアクセス運動、学術成果はより広く共有すべきとするオープンサイエンスの潮流が始まりました。この背景には、学位授与大学の増加や新興国の研究者激増に伴う研究競争の激化、論文成果を出すことが求められる研究者を狙う粗悪学術誌の出現、査読よりも出版速度が重要な分野を中心とするプレプリント出版の隆盛などがあります。

学術雑誌が現在置かれている状況を整理するとともに、今後の論文発表はどのように変化していくのか、研究者は何をすればいいのか、講師とともに考えます。

2025 1.29 [水]
会場&オンラインでのハイブリッド開催

時間 13:30-15:30

場所 三重大学地域イノベーションホール
(地域イノベーション研究開発拠点C棟・3階)

Guest Speaker

同志社大学免許資格課程センター 教授
佐藤 翔氏京都大学情報環境機構 准教授
西岡 千文氏セミナーお申し込みはこちらから
オンラインでの参加をご希望される方には、
当日までに参加URLをご連絡いたします。『文部科学省「オープンアクセス加速化事業
(令和5年度補正予算:人工知能等社会実装研究拠点事業補助金)」』

お問い合わせ

国立大学法人三重大学 研究推進チーム

✉ ken-sokatu@ab.mie-u.ac.jp